

大阪YMCA創立125周年記念プログラム



「教育を共に考える集い」

日程：2007年10月20日(土)
 会場：YMCA学院高等学校 大阪市天王寺区南河堀町9-5-2

第1部 大阪YMCAが創る中学校卒業後の3つの学び舎をご紹介
 時間 13:00~14:00

第2部 『不登校・いじめ・ひきこもりー「生きること」と「学校」の関係ー』
 時間 14:00~16:00
 講師 内田良子氏
 プロフィール：心理カウンセラー。73年より東京都内の保健所で相談活動を続け、2000年まで俊成病院心理室に勤務。98年から「子ども相談室・モモの部屋」を主宰し、登校拒否、不登校、非行、ひきこもりなどのグループ相談会を開いている。立教大学非常勤講師、NHKラジオ電話相談「子どもの心相談」アドバイザーとしても活躍中。育児サークル、全国各地で講演活動をおこなう。主な著書に「子どもたちが語る登校拒否」「わが子をどうするか」「カウンセラー良子さんの子育てはなぜとき」など。

第3部 フリースクール大集合(個別相談会開催)
 時間 16:15~17:30

申込み 9月5日より受付開始 YMCA学院高等学校
 <電話>06(6779)5690 <メール>hsinfo@osakaymca.or.jp
 第1部~第3部のいずれかの参加も可能です。

受付時間 平日10:00~18:00迄

共催 大阪YMCA国際専門学校国際高等課程 国際学科
 大阪YMCA国際専門学校高等課程 表現・コミュニケーション学科
 YMCA学院高等学校

後援 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

「大阪YMCA創立125周年」記念講演会

テーマ 「今、子ども・若者がわからない」
 講師 速水敏彦氏 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科教授
 プロフィール：1947年愛知県生まれ。名古屋大学教育学部卒業後、大阪教育大学助教授、名古屋大学教育学部附属中・高等学校校長などを経て、現職。専門は教育心理学。著書に「他人を見下す若者たち」「動機づけの発達心理学」など。

日時 2007年10月27日(土) 10:00~12:30
 場所 大阪YMCA会館 9階 <大阪市西区土佐堀1-5-6>
 問合せ 06(6441)0894 (大阪YMCA総務部 担当：蔭山)

大阪YMCA創立125周年記念音楽団

団員募集

音楽を聴くのは楽しい！演奏会を聴きに行くのは楽しい！
 歌を歌ったり、楽器を演奏するのは、もっと楽しい！！
 みんなで演奏するのはもっともっと楽しい！！

「大阪YMCA創立125周年記念イメージソング きみはひとりじゃないよー(作詞・吉田亜衣、作曲・只野準一)」を11月3日(祝・土)大阪YMCA会館で一緒に歌ったり、演奏したりしませんか。音楽を愛するたくさんの仲間が集まって欲しいです！！

◆呼びかけ人(YMCAボランティアスタッフ)◆

只野準一、吉田亜衣、牧口望、和田早苗、内田弘志

-募集要項-

入団資格：原則として年齢制限、経験年数制限等はありません。主旨を理解し当楽団に入団を希望する方なら、入団できます。

入団審査：オーディションは実施しません簡単な面接をいたします。
 歌(独唱・合唱)、楽器(木管、金管、打楽器、弦楽器、ハーモニカ、大正琴など音の出るものなら何でも)の種類、クラシック、ジャズ、ポピュラー、ゴスペル、民謡などジャンルも問いません。まったく未経験の方でも入団できます。

練習日時：通常練習は毎週土曜日18:00~20:00(9月15日より)
 特別練習は11月2日(金)18:00~20:00

会場：大阪YMCA会館

活動費用：無料(大阪YMCAの会員、学生)

※会員でない方は臨時登録費1000円が必要です。(一年間有効)ボランティア保険含む。

活動内容：2007年「とさぼりカーニバル」において「大阪YMCA創立125周年記念イメージソング きみはひとりじゃないよー」「We are the World」の2曲を演奏します。なお、2008年以降の活動は未定ですが、YMCA各種イベント参加などの活動を継続していく予定です。

申込方法：音楽団事務局の内田弘志(uchida-hiroshi@osakaymca.or.jp)までお名前、楽器名、連絡先をお知らせ下さい。お問い合わせもお気軽にどうぞ。お待ちしております。

TEL06(6441)0894

大阪南YMCAキリスト教オープンセミナー

暴力の臨界と平和主義 —教育再生から憲法9条まで—

日時 2007年9月27日(木) 18:30~20:00
 会場 大阪南YMCA (YMCA学院高等学校) 3階309教室
 講師 小原克博氏
 プロフィール：1965年大阪生まれ。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。現在、同志社大学神学部教授。同大学一神教学際研究センター幹事、京都・宗教系大学院連合事務局長。専門は、キリスト教思想、比較宗教倫理学。現代社会が直面する先端的課題に対し、フェミニズム、生命倫理、エコロジーなど多様な学問領域を切り口にしながら応答を試みている。近著に『原理主義から世界の動きが見える—キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』(共著、PHP研究所、2006年)、『よくわかるキリスト教@インターネット』(共著、教文館、2003年)などがある。

参加費 無料(教職者・信徒の方を始め、テーマに興味関心のある方はどなたでも参加できます。)

申込み お電話(またはFAX)で下記にお申込みください。
 主催 大阪南YMCA「キリスト教」委員会
 担当：員・小川
 TEL06(6779)5690 FAX06(6779)1831
 〒534-0054 大阪市天王寺区南河堀町9-52

内田：YMCAに関わるようになったきっかけについてお話ししていただけますか。
 加藤：きっかけは教会です。昭和30(1955)年夏に私は当時愛知県の岡崎教会にいましたが、教会の会合の席で会社の同僚のワイズメンから、ワイズについて色々教えられ、9月の例会に出るよう勧められました。それがYMCAとワイズと50年間付き合おうようになったきっかけとなったのです。
 名古屋にいた期間が短かく、YMCAの関係はそれほど強くありませんでした。まもなく転勤で関西に移り、大阪クラブを経て、豊中クラブに移りました。大阪では勤め先がYMCAに近かったこと

もあり、奈良伝総主事に色々教えていただきました。木下清さんがワイズの中西部長の時、支部の事務局長を引き受け、それがワイズの仕事に深入りする手始めとなりました。その後、高槻にYMCAを建設する際、田中稔二総主事に協力して高槻市長を訪問したことを覚えております。
 高槻YMCAが完成する前に、今度は東京に転勤になりました。私は奈良伝総主事のお指図に従い、令息信氏のいる東京山手クラブに移りました。東京山手クラブではワイズメンは皆YMCAの活動を推進する委員会に入ることが決まっていた。教育の委員、プログラムの委員、学生寮の委員など

加藤：東京では当時の山手プラザ館の修理を含めて仕事量も多く、実に多種多様な仕事をしておられました。高槻では、やはり藤井館長です。彼は人心をつかむことが上手で、外部との折衝が上手なのが印象に残りましたね。今ひとり、直井スタッフとは大人向けの講座、プログラムを立ち上げて、一緒に2年間仕事をしましたことが記憶に残っています。
 内田：今後のYMCAに期待することは何ですか。
 加藤：YMCAの一番大切な仕事は青少年の健全育成です。しかし、その青少年を集めたり、協力を得るには、周りにいる保護者や地域の大人たちにYMCAに来てもらわねばなりません。そのためには成人向けのプログラムが必要で、これからは特に団塊の世代や高齢者向けのプログラムや活動も積極的に進めてほしいと考えます。若い人も高齢者も皆YMCAに集まってこそ、青少年の健全な育成が達成できると思います。

創立125周年記念インタビュー

先人に聞く! ②

かとうらお
 加藤寅尾さん

プロフィール



【ワイズ歴】1955年名古屋クラブ入会、大阪クラブ、豊中クラブ、東京山手クラブ、高槻クラブを経て、現在大阪茨木クラブ所属。
 1961年日本区物品事業主任、1992年茨木クラブ設立初代会長、1999年中西部長を務められる。

ど色々ありましたが、私は教育委員になり、後には山手プランチの運営委員長を務めました。また、神田本館の仕事もお手伝いしました。12年後、また関西に移り、高槻クラブに転入会しましたが、茨木に新クラブを作ることになり、設立委員長、初代会長を務め、1998年には中西部長を務めました。同時に高槻YMCAの運営委員長を命ぜられ、6年間奉仕しました。

YMCAの会員としては大阪YMCA、東京YMCA両方のメンバーで、2005年東京YMCAの名誉会員となりました。
 内田：どんな人との出会いがありましたか。
 加藤：東京では当時の山手プランザ館の飯島隆介さんですね。会館の修理を含めて仕事量も多く、実に多種多様な仕事をしておられました。高槻では、やはり藤井館長です。彼は人心をつかむことが上手で、外部との折衝が上手なのが印象に残りましたね。今ひとり、直井スタッフとは大人向けの講座、プログラムを立ち上げて、一緒に2年間仕事をしましたことが記憶に残っています。